



山口県議会議員

# 藤生 おさむ

県政レポート  
vol.4

## Topic

- 2025年2月議会において人口減少や物価高騰対策などを柱とする7,398億円の新年度一般会計当初予算の審議を行い可決
- 山口県農業試験場跡地利用基本計画の素案が示されました
- 一般質問に登壇し、提案重視の質問を行いました(詳細は下記！)

録画映像はこちら  
(山口県議会HP)



### 大内農業試験場跡地利用 パブリックコメント募集中！

#### 【計画素案の概要】

- ・公的利活用(東側)と民間利活用(西側)のエリアに分けて整備
- ・公的利活用エリア(地域交流センター等)から順次整備を進める
- ・民間利活用エリアについては令和10年度以降に事業者公募予定



パブコメはこちらへ  
(山口県HP) 4/21まで



## 2月議会 一般質問

### 渋滞対策について

公務員の通勤が変われば渋滞も解消する！

#### 質問



**山口市は行政機能が集中する公務員のまちであり、公務員の行動によって大きくまちが変わるポテンシャルを秘めている。**そんな山口市の朝夕は国道9号線を中心に渋滞が常態化していることは周知の事実。渋滞の解消は経済の活性化や住民の幸福度向上にもつながるはず。

そこで、「**時差出勤**」や「**在宅勤務**」を職員の働き方改革という内向きの施策としてだけとらえるのではなく、**一般県民にも効果のある渋滞対策としてもとらえ直し、その成果を数字で示していくこと**により県民のために行動する県庁とさせていただき、県政への理解を一層促進することにもつながると思うが見解を伺う。

熊本で聞いてきた事例を参考にしました



半導体メーカーTSMC進出に沸き立つ熊本県ですが、渋滞は全国トップクラス。熊本県はソフト対策として官民に呼びかけ、約4700人が時差出勤・在宅勤務に協力し、渋滞への効果を実証しました。

ちなみに、**熊本県職員の自動車通勤台数1222台のうち、時差出勤等を実施した台数711台と約6割！**

その結果、**ピーク時間における渋滞箇所交通量は約10%減少！**今後は実証結果をもとに、オール熊本体制で10000人の参加協力を目指されています。



JASM熊本工場  
(熊本県菊陽町)

#### 答弁

本県では、時差出勤や在宅勤務制度を導入するとともに、昨年度から、デジタルを最大限活用して業務の効率化と新たな働き方を実現する「やまぐちワークスタイルシフト」に取り組んでいる。県としては、全ての職員がそれぞれの事情や目的に応じて多様で柔軟な働き方を選択できるよう、引き続き、制度の適切な運用及び必要に応じた見直し、職場環境の整備にしっかりと取り組む。

【藤生所感】残念ながら前向きな答弁は得られませんが、地域の皆様のお声を聞きながら引き続き粘り強く提案していきます！

熊本では渋滞問題のほかにも…



- ・外国人による周辺用地の買い上げ
  - ・収益性の低い飼料用農地が売られ畜産業界へ打撃
  - ・熊本都市圏の生活を支える地下水への影響懸念
  - ・時給の急激な上昇による周辺企業の経営難
- などを現地でも聞き、企業誘致には総合的な対策が必要であることを実感しました

### デジタルの活用について

利用者の目線で行政アプリ集約を！

#### 質問

山口県には3つのアプリ(ぶちエコアプリ、ぶちうまアプリ、やまぐち健幸アプリ)があり、それぞれにポイントを貯める機能がある。これらのアプリは県民に行動変容を促すためのものであることから、ユーザー数が重要な指標である。そのため、利用者目線に立ったユーザー拡大が必要と考えるが、提案(右記)をふまえた県の考えを伺う。

#### 提案

- ① ポイント共通化や交換のできるワンストップなアプリに
- ② 経済的インセンティブの付与  
⇒物価高騰時のクーポンのデジタル配布等



環境、健康、地産地消分野の3つの県アプリ

#### 答弁

**アプリの集約化は、ポイントの共通化や交換などが利用者のメリットになるとともに、行政にとっても新たなサービスの構築などへ活かすこともできると考える。**経済的インセンティブ付与については、費用対効果について十分な検討が必要。

県としては、アプリの統合やデータ連携の方法などについては、先行する他の都道府県の状況など、広く情報収集も行いながら、**ご提案いただいた内容も含め、総合的な検討を進めていきたいと考えている。**

#### 参考事例

##### ■佐賀市公式スーパーアプリ

- ・マイナンバーと連動したデジタル市民証、施設予約、図書カード、学校出欠連絡、防災、観光など複数のミニアプリが搭載されたワンストップアプリ
- ・物価高騰対策として、地域振興券やタクシーの電子チケットをアプリ経由で申し込みできるようにすることでユーザー数増加

# 公金の運用について

物価高に負けない公金運用を！



## 質問

県は財政健全化を着実に進めてきた一方で、公金（積み立てている約880億円の基金など）の運用については、他の都道府県と比べると効率的とはいえない。物価高が進む中では、確実性だけ重視して公金を円として預金しているだけでは将来の実質的な購買力は目減りするリスクが高い。以下の提案を踏まえ、今後の公金の運用方針を伺う。

## 提案

- ① 基金の一括運用
- ② 基金の取崩しスケジュール明確化
- ③ 専門人材の育成と組織改革

## 答弁

①基金の一括運用はスケールメリットを活かした効率的な運用を可能とするものであり、また、②各基金の取り崩しスケジュールの明確化についても、余裕資金の流動性の把握が可能となるなど、ともに効果的な基金の運用手法であると認識している。一方で、災害対応等に備えた基金や、政策課題に機動的に対応するため、各年度の予算編成において取り崩し額を決定する基金もあり、運用が可能な期間にばらつきがあることから、今後、基金を運用可能な期間ごとに整理した上で、他の自治体の取組も参考にしながら、調査研究を進める。

③公金運用の人材育成と組織改革については、債券による運用は、高度な専門性が求められることから、金融の専門家による研修会の開催等、人材育成の取組を強化するとともに「公金管理・運用対策会議」における専門部会の設置等、必要に応じた見直しを検討する。

現状は効率的な運用ができていない



## 参考

■GPIFによる年金基金の運用  
 我が年の年金を運用するGPIFは、国内株式・債券、海外株式・債券を1/4ずつの割合で保有しリスク分散しながら2001年度～2023年度まで年平均運用利回りは4.24%。自治体の公金の持ち方として預金だけでいいのだろうかという問題意識がありました。

# 公務員による地域貢献活動について

公務で培ったスキルを外で活かしてほしい！



## 質問

山口県職員のボランティア休暇の取得実績は令和5年度は美祢豪雨災害復旧のため16件あるが、令和元年度から4年度までの取得実績は0件。これは、本県のボランティア休暇に際して認められる活動対象が国と横並びで「被災地域における支援」「障害、負傷、疾病がある者の支援」に限られていることに要因があると考え。担い手不足が深刻な鳥取県では自治会やPTA活動、NPO支援などの地域貢献活動に際して取得できる「ふるさと応援休暇」を創設している。職員にとっても職場の外で活動することで自己実現につながり、現場の声を聞くことで施策に活かすこともできる。そこで、本県においても地域貢献活動休暇を導入する等して、働き方改革と地域貢献の両面に働きかけてはいかかが。

## 答弁

これまで災害ボランティアや県庁中山間応援隊などの活動を通じ、職員の「現場での実践」を促進してきたが、新たに策定する「山口県人材育成・確保基本方針」でも人材育成の取組の1つに掲げ、引き続き積極的に推進していく。人口減少に伴う地域社会の担い手の減少をはじめ、学校部活動の地域移行など地域活動を巡る状況は変化しており、今後、他県の動向等を踏まえ、特別休暇制度を見直すことについて検討を進めていきたい。



# 農林水産委員会（令和7年2月議会）と自主視察

**問題意識** 農業従事者の高齢化と急減。もはや農家だけに任せて日本の食料は守ることは難しくなっている。公務員、JA、多様な人材が農業に直接関わる仕組みを作っていく必要があるのではないか？  
 ⇒議論の行方は後日公開の農林水産委員会の議事録ご覧ください

## 藤生が考えていること

特定地域づくり事業協同組合設立促進

過疎地にのみ設立が認められる組合制度。繁忙期の異なる複数の事業所（農業含む）に通年で従事するマルチワーカーの件費に補助有。熊本県や福島県は設立を促進するための支援員を設置。

農業ボランティア・副業の活発化

退職自衛官を受け入れる農業公社

企業等で定年が延び、定年退職後に農業に従事するモデルは崩壊。一方、自衛官の退職は50代でセカンドキャリアに課題。体力のある退役隊員に安心して農業に従事してもらう仕組みは有効ではないか。

先進取組ご紹介 ～ 職員の兼業・副業の弾力化【神戸市】

神戸市では職員が報酬を得て地域貢献活動（有償ボランティア等）を行うことについて先進的に取り組んでいる。この度、新たな活動対象に「農業」「福祉」分野を追加。

## 自主視察



熊本市東部堆肥センター  
 ・公設の堆肥センター  
 ・同センターの良質堆肥は各賞受賞  
 ・家畜排せつ物持込者への堆肥提供、堆肥散布サービス等（耕畜連携）



小花粉スギ苗木生産現場（美祢）



園場整備（秋穂）  
 地元小学生の総合的な学び



山口県議会議員 藤生おさむ事務所

〒754-0015 山口県山口市小郡大江町4番29号

TEL：080-9067-9546（事務所）

Mail：fujio@fujiaawesome.work